

阿弥陀様は、なぜずっと立っているの

長島秀賢

何年か前に、小学生の子達と「お勤め（正信偈）」の練習をしていた時のことです。

六年生の女の子から質問がありました。

「ごえんさん、どうして阿弥陀様は立っているの？奈良の大仏様は座っているのに。」

「ずっと立ちっぱなしで、疲れないのかな？」

なぜなのでしょう。

「気付いてくれて、ありがとう。あなたは、なぜだと思う？」

「立っていると、後ろの方にいる子の姿も見えるからかな。」

「そうだね。座っていたら、後ろの方にいる子までちゃんと見えないよね。立っていた方がいいことって、他にもあるんじゃないかな。」

「立っていると、すぐに動けることかな。うちのお祖母ちゃん、よっこいしょって。」

「そうそう。よっこいしょって。座っていると、何かあってもすぐに動けないよね。」

阿弥陀様という仏様は、『全ての命あるものを、漏らさず平等に助けたい』という願いを持った仏様なんだよ。全ての・・・だから、休む暇もなく今も全ての命あるもの助け続けているんだよ。『助けてあげたい』という強い願いで必死に働いていらっしゃるから、きっと疲れも感じないんじゃないかな。」

「阿弥陀様は、なぜずっと立っているの」

「大事なことを、ちゃんと見てくれてありがとう。気づいてくれてありがとう。」

(合掌)